

# テレビ番組を市民が創れるって？面白い！ おしゃべりサロン「相互塾」

(第66回) <入場無料>



若いも若きも大歓迎。Face to Face を大切に！

## 市民放送局の時代 ～地域情報化政策転換のすすめ～

日時：平成17年7月25日（月） 午後7時～9時  
場所：調布市総合福祉センター 4階 視聴覚室（グリーンホール南隣）  
語り手：松野良一さん 中央大学総合政策学部教授

アナログ時代からデジタル時代に移行することで生じた最も大きな変化は、今までマスメディアからの「受け手」でしかなかった市民が、自らのアイデアと創作活動によってコンテンツを制作し、発信できる「送り手」になれたことです。そして最近、覚醒した市民によるメディア活動が、全国で活発化しています。

こうした市民メディア活動は、これまでの官主導の「上」からのインフラ整備中心の政策と違って、「下」から地域を再発見し、地域を元気にしようという意気込みが感じられます。

e-Japan 構想が打ち出され、全国にインフラの整備が進められてきましたが、市民によるコンテンツ生産、発信を促すような政策はありませんでした。しかし、市民が発信できるようになった現在、自治体はハードからソフト(コンテンツ)中心に政策を転換する時代が来ているように思います。

今回は、日本各地の市民によるメディア活動や、米国における市民放送局を映像などで紹介し、デジタル時代における新しい地域情報化と地域活性化について考えてみたいと思います。

【終了後懇親会(参加自由、実費2千円前後)を行います】



主催：特定非営利活動法人 調布まちづくりの会

連絡先：森下 政信 (TEL&FAX 83-9993)

E-mail [mmasanob@sepia.ocn.ne.jp](mailto:mmasanob@sepia.ocn.ne.jp)

(ウラへ続く)